

1. 調査名称： LNGバンカリングに関する日・シンガポール共同調査

2. WG構成員： 川崎汽船株式会社
株式会社商船三井
日本郵船株式会社
シンガポール海事港湾庁
国土交通省港湾局
(オブザーバー)
国土交通省海事局

3. 調査開始に際しての石井国土交通大臣及びコー運輸大臣のコメント：

○石井国土交通大臣

世界最大のバンカリング港であるシンガポールと世界最大のLNG輸入国である日本は、連携してLNG燃料の利用を促進させることにより、世界の海運の発展に貢献する責任があると考えております。

その中で、本年4月には、シンガポール海事港湾庁のタン長官にパネリストとしてご参加頂くとともに、世界各国から多くの参加を得て、「LNGバンカリング国際シンポジウム」が横浜で開催されたところであり、両国が主導する取組が世界に広がっていると実感しております。

共同調査は両国間の連携の成果を具体的なものとするため重要な役割を果たします。素晴らしい調査成果が出ることを強く望んでおります。

○コー運輸大臣

船舶からの汚染はより抑えることが可能であり、国際海事機関(IMO)は船舶燃料について世界的に硫黄分を2020年までに0.5%以下とする規制を課しました。

これはシンガポールと日本にとって、船舶のグリーン化を実現するためのグローバルな調査を共同で主導する機会でもあります。

特に、自動車運搬船へのLNGバンカリングに関する日本とシンガポールの共同調査は大きな可能性を示すものです。

これは、二国間協力を海運にまで広げるとともに、二国間協力を新たなレベルに高めるものであります。